

オンリーワンの港区政を目指して

## 公開シンポジウム

を開催いたします!

地方分権の流れの中で、全国各地では改革志向の知事や市長が多数誕生し、これまでの慣習や常識といわれるものにとらわれず、斬新な取り組みをはじめています。住民に最も身近な政府である地方自治体が地域の特性や特色を活かし、競い合いながら互いに向上を目指す時代の幕開けともいえます。どこに暮らしても同じという横並びの時代が終わったともいえます。

このような時代を迎え、港区政は何を目指しどのような方向に進むべきなのか、主権者である区民が中心になり、真剣で活発な議論が必要ではないでしょうか。時代の転換点である今、政治を役所に任せるだけでは解決できない問題が顕在化しつつあります。

この度、三重県の北川正恭前知事の懐刀として改革に手腕を発揮した村尾信尚氏、田中康夫知事と真正面から論戦を交わしている長野県議会議員の柳田清二氏、合併後の新市政で活躍するさいたま市議会議員の土井裕之氏などをお迎えしてパネルディスカッションを行ないます。各地での独自の取り組み等を伺う中で、港区政改革の方向性を浮き彫りにしていきたいと思えます。

みなさまお誘いあわせの上のご参加を心よりお待ちしております。

### シンポジウム次第(予定)

#### 第一部(基調講演)

村尾信尚氏

「役所は変わる もしあなたが望むなら」

#### 第二部(パネルディスカッション)

地方自治の将来像とこれからの港区政

パネラー 村尾信尚氏

関西学院大学教授

元財務省国債課長

<http://www.murao-n.net/>

柳田清二氏(長野県議会議員)

土井裕之氏(さいたま市議会議員)

湯原信一氏(港区議会議員)

小齊太郎 他…(交渉中の方あり)

こさい太郎より「オンリーワン」宣言

### オンリーワンの港区政を目指して 公開シンポジウム

日時: 4月22日(木) 午後7時~9時

当日は、午後6時に開場し、小齊太郎がお待ちしております。  
お時間の許す際は早めにご来場頂き、ご懇談くだされば幸いです。

場所: 青山ダイヤモンドホール

(地下一階: 右図参照)

会費: 1,000円

(資料代等: なお、お食事の準備はありません。ご容赦ください。)

### ご出欠をお知らせください!

公開シンポジウムに ( ) 名様にて、参加する 参加できない

お名前		お電話	
ご住所	〒	その他の ご連絡先	

メッセージ等があればご記入ください

←こちらにご記入の上、Faxにてお送りください(切取は不要です)。また、返信はがき、お電話・e-mailでも承ります。いずれかの方法にてご連絡下されれば幸いです。よろしくお願い申し上げます。

お申し込み・お問い合わせは…

こさい太郎を育てる会  
小齊太郎後援会

TEL: 03-5485-9111

FAX: 03-5485-9100

e-mail: [taro@kosaioffice.com](mailto:taro@kosaioffice.com)

# きょうこの コラム

こさい太郎と暮らしていると、おもしろいことがある。日々耳に入ってくるニュースや様々な出来事について、その背景やしくみ、人物像、歴史的経緯などを、「なんで、どーして?」と幼い子どものように質問すると、私のような者でも理解できるわかり易い言葉でちゃんと説明してくれるからだ。ふむふむ、なるほど、これは一つ勉強になった、ガッテン<sup>2</sup>とスッキリすることが案外多い。

けれど、時にはテレビを見ながら、ほんのちょっと軽くたずねたつもりなのに力説し始めてしまい、コメンテーター(解説者)の話を書きたかった私は聖徳太子にはなれず、今は聞くんじゃなかった、と後悔する。「オレの話の方が重要!」と主張する彼と「あなたの話はいつでも聞ける。私はこの人の意見が聞きたいのー!」となり、後にご想像通り…。

数年前、彼が新党さきがけに所属していた頃、さきがけに残った地方議員だけで、都内の主要駅前を街頭演説して回ったことがある。あまりチラシは受け取ってくれないし、立ち止まって話を聞いて下さる方もほとんど見受けられなかった。反省会の席で感想を求められたので、「難しい言葉があって理解されにくいように思う。」と言ってみたところ、「幼稚園生に向かって話しているんじゃないのだから…」とこさいに一蹴された。でも、いまだに思う。その業界にいる人間にとっては耳なれた当たり前の言葉や単語、内容でも、ふだん熱心に関心をよせていない人にとってみれば、何の話なのか容易にはわからないことが世の中いっぱいあるということを…。もしかしたら、「行財政改革」が「餃子一斉改革」(^\_^;)と聞こえる人だっているかもしれない。

この度、こさい太郎はついに決意を固めたようだ。「もっとやらなきゃいけないことがある。このままでは港区がダメになる!」と熱く語る理由の一つ一つを、私にでもわかるような易しい言葉や表現で、大いに吠えまくってほしいと思う。ひとりの港区民として、同じ時代を生きている人間として、心からエールを送りたい。

(きょうこ=小齊恭子=たろうの妻です)

## 街頭遊説 行なっています

是非お声がけ下さい!!!

- 📎 シンポジウムへの多数のみなさまのご参加をお待ちしております。特に、パネルディスカッションのパネラーは、それぞれの立場で政治や行政の改革に向け実践行動している方々です。ぜひ、議論の中から港区政を変えていく道筋が導き出せればと思っています。
- 📎 今回10年目を迎える夜警(夜回り)を、例年通り、昨年末の冬至から節分まで行ないました。多くのみなさまにご激励頂きましたことを、この場をお借りして御礼申し上げます。今後とも、災害を防ぎ、防げるまちづくりにむけて、研究、実践両面から努力して参ります。